アニメーション文化論 II

科目ナンバリング　ARL-104
選択　　2単位

康村　　諒

1. 授業の概要（ねらい）

前期では総論として、映像史から現代日本のアニメ誕生までを概観しました。後期では、現代日本のアニメがなぜ海外で受け入れられたのか、発展したのか、その魅力について考えます。海外の研究者の視点も参考にしながら、個々の作品から、その映像を分析していきます。

2. 授業の到達目標

本講義では、現代日本の個々のアニメーションについての基礎知識を海外の視点も踏まえ考えます。作品の内容について（作家の伝記や時代背景よりも）、作品を自律的なものとして捉え、その構造・意味・象徴性などを考えます。授業で得た知識を基に、自分自身で映像ドラマを分析する視点を持てるようにします。

3. 成績評価の方法および基準

平常点（授業への出席率・参加度）50%、期末試験50%
※出席率は3分の2以上を単位の条件とします。（公欠を除く）

4. 教科書・参考文献

教科書
プリントを適宜配布。
参考文献
スーザン・J・ネイピア／神山京子訳　『現代日本のアニメ』（2002年）　中公叢書
小川昌宏／須川亜紀子編著　『アニメ研究入門』（2014年）　現代書館
横田正夫・池田宏・小出正志編　『アニメーションの事典』（2012年）　朝倉書店

5. 準備学修の内容

授業外の現代日本のアニメについても質問を受けつけます。色々なアニメに興味を持って、質問を用意しましょう。

6. その他履修上の注意事項

作品の紹介はシラバスとは多少前後（あるいは変更）することもあるので注意すること。

7. 授業内容

【第1回】　前期のまとめとガイダンス。映像文法の基礎を知る。
【第2回】　『AKIRA』身体、変身、アイデンティティ①
【第3回】　『AKIRA』身体、変身、アイデンティティ②
【第4回】　『もののけ姫』ファンタジーと女性性、神話①
【第5回】　『もののけ姫』ファンタジーと女性性、神話②
【第6回】　『攻殻機動隊』テクノロジー化した身体とアニメ①
【第7回】　『攻殻機動隊』テクノロジー化した身体とアニメ②『アニマトリックス』日本的美意識の変化
【第8回】　『銀河鉄道999』少年の成長と旅立ち①
【第9回】　『銀河鉄道999』少年の成長と旅立ち②
【第10回】　『この世界の片隅に』歴史を見据えるアニメ①
【第11回】　『この世界の片隅に』歴史を見据えるアニメ②
【第12回】　『千と千尋の神隠し』カーニバルと封印の美学①
【第13回】　『千と千尋の神隠し』カーニバルと封印の美学②
【第14回】　テレビ・アニメ
【第15回】　総まとめとテスト。